

## 令和8年度 文教委員会資料

### 【請願の審査（視察）】

請願第36号 川崎市民プラザの存続を求める要望に関する請願（視察資料）

資料 川崎市民プラザについて

市 民 文 化 局

（令和8年5月22日）

令和8年5月22日

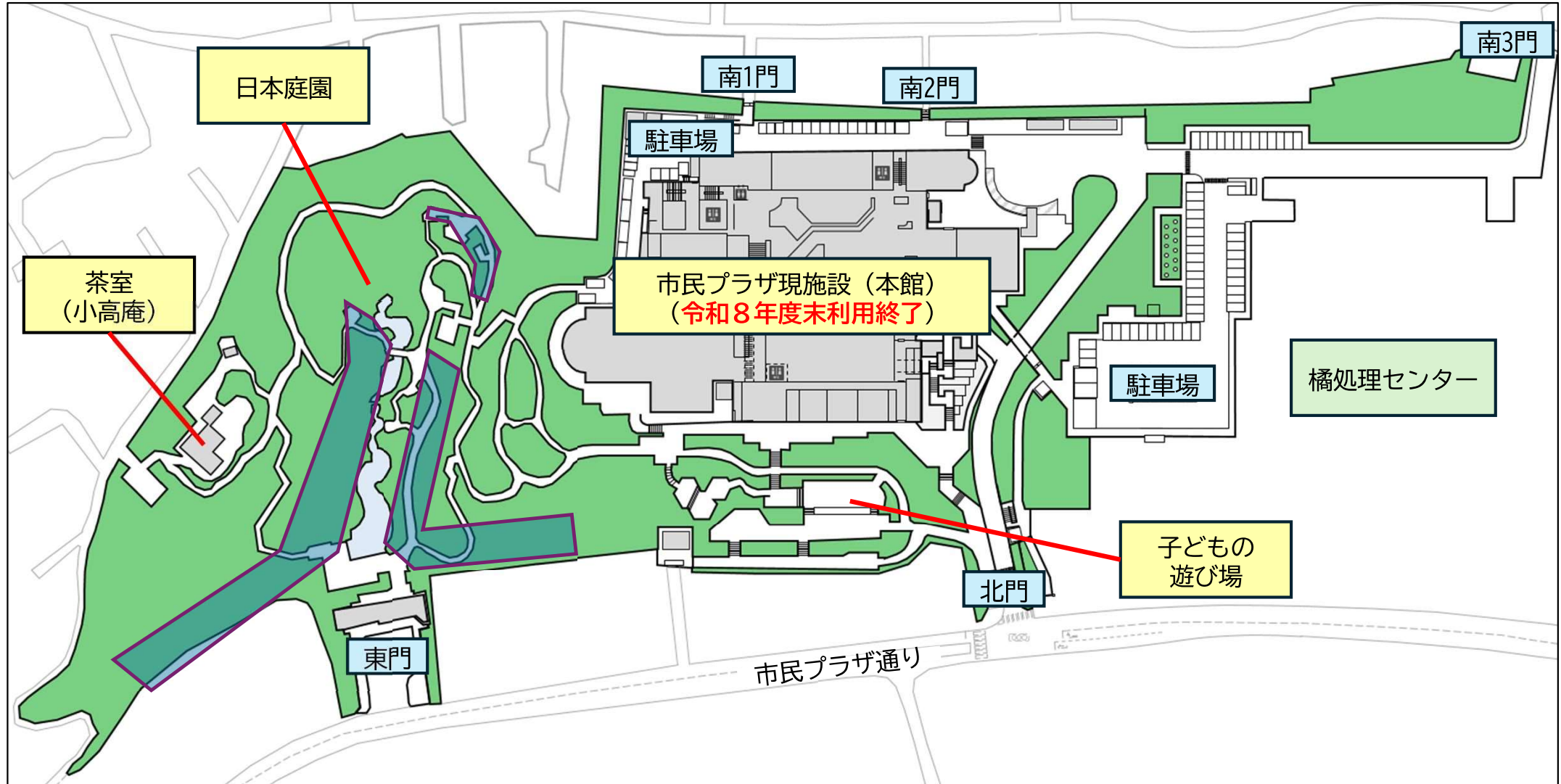
市民文化局市民生活部企画課

## 川崎市民プラザについて

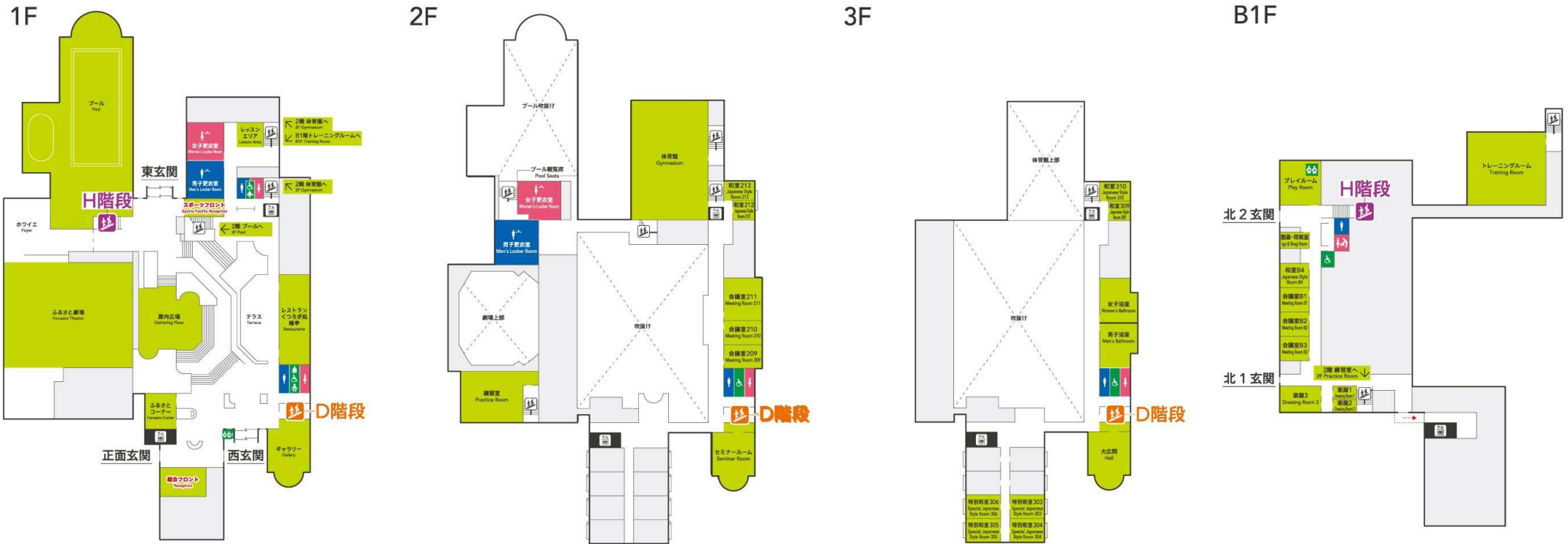


# 川崎市民プラザについて

## 案内図



# 川崎市民プラザについて



所在地	高津区新作1丁目19番1号	敷地面積	33,580.13㎡	延床面積	12,659.36㎡ (茶室含む)
開設	昭和54年5月1日 (築47年: 令和8年5月1日時点)				
諸室機能	<p>【現施設 (本館)】</p> <p>(地下) 楽屋、会議室、和室、トレーニング室、プレイルーム、囲碁・将棋室 他</p> <p>(1階) 屋内広場、ホール、ステージ、ギャラリー、温水プール 他</p> <p>(2階) 体育室、会議室、和室、セミナールーム 他</p> <p>(3階) 和室、浴室、大広間 他</p> <p>【別棟・設備等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・茶室、子どもの遊び場 他</li> </ul>				
管理・運営	<p>指定管理者: 川崎みらい創造グループ (代表企業: 株式会社コングレ)</p> <p>第3期指定管理期間: 令和2年度~令和8年度</p>				

# 川崎市民プラザについて

## 1 経過

### ●昭和54年5月1日～

- ・開館、財団法人川崎市指定都市記念事業公社により運営
- ・「精神的・肉体的健康の増進」をテーマとして構想
- ・約3万平方メートルの敷地に緑と太陽をふんだんに活かし、また、隣接する橋処理センターから供給される余熱エネルギーを活用した快適な環境で、すべての市民が楽しく過ごせるように造られた「文化・健康の増進」と「福祉・余暇の充実」の総合施設

### ●平成24年4月1日～

- ・公社解散に伴い、同公社から市に寄付
- ・市民プラザ条例制定、指定管理者制度導入、宿泊機能の廃止

(川崎市民プラザ条例)

- ・第1条 市民の健康の増進及び文化の振興を図るとともに、市民相互の交流の機会を提供し、もって市民の福祉の向上に寄与するため、川崎市民プラザを設置する。

### ●令和4年度

- ・行財政改革第3期プログラムに基づく「老朽化等を踏まえた今後の方向性」の検討を開始



(R4：プール循環配管破断)  
※R4.10～R5.5：プール休止



(R4：ナラ枯れの影響による倒木)



(体育館の特定天井)

### ●令和5年度

- ・耐震2次診断の結果や特定天井の存在から、耐震補強工事の実施に向けた検討を開始

### ●令和6年11月15日

- ・現機能・規模を維持することが最適であるかなどの判断を要するため、耐震補強工事設計の実施を再検討する「市民プラザの今後の方向性の検討状況について」を報告



(外観)



(屋内広場)

### ●令和7年2月10日

「川崎市民プラザの今後の方向性」を報告

#### 耐震補強工事等の実施の再検討結果

- ・施設の老朽化、未利用・目的外利用の諸室の存在、耐震性の不足・特定天井の存在等各課題への対応等を総合的に判断した結果、耐震補強工事や設備等の修繕に相当な費用を投じて、今後も現施設の機能・規模を維持し続けることは合理的ではない。

#### 今後の方向性

- ・耐震補強工事等を実施せず、現施設の利用を終了する。
- ・利用者等への影響を考慮し、現施設の利用終了時期は令和8年度末を目途とする。
- ・これまで果たしてきた機能や役割を踏まえ、改めて必要な機能を整理した上で施設整備について検討を進める。
- ・施設整備についての基本的な考え方を令和7年中を目途に示す。

### ●令和7年11月13日

「市民プラザ現施設の利用終了に伴う新たな施設整備についての基本的な考え方」を報告

#### 基本的な考え方策定の趣旨

- ・市民プラザがこれまで果たしてきた役割・機能、取り巻く環境の変化や主な課題等を踏まえ、現施設利用終了後の新たな施設整備の必要性や想定される役割・機能、施設整備の検討の視点などを整理する。

「小高庵（おだかあん）」を存続させ、令和8年度末以降の継続利用に向けた積極的な検討を求める陳情」を審議

- ・全会一致で「採択」

# 川崎市民プラザについて

## 2 これまで果たしてきた役割・機能等

※R7.11 「基本的な考え方」より抜粋

### (1) 各諸室等の利用人数

分類	年度 (開館からの年数)	S54 (1年)	H11 (20年)	H26 (35年)	R1※ (40年)	R6※ (45年)
体育	プール	120,249	143,783	127,773	122,403	91,743
	体育館	16,136	25,608	22,172	24,242	26,475
	トレーニングルーム	3,420	14,330	20,485	29,122	39,178
文化	ふるさと劇場	81,263	33,345	40,569	40,042	33,313
	屋内広場	66,070	40,365	30,179	26,980	28,629
	会議室・和室 セミナールーム	80,496	96,599	41,100	37,933	26,467
	練習室	5,379	13,885	11,244	10,431	7,841
	茶室	5,091	4,224	2,686	3,115	2,664
	ギャラリー	25,060	7,779	6,650	6,975	5,787
	自主	ふるさとコーナー	22,035	2,922	4,176	3,174
	宿泊室(特別和室)	15,464	9,901	5,831	9,803	4,175
交流	大広間	20,147	20,194	7,407	2,414	1,509
	浴室	未集計	未集計	130,521	94,612	休止
	囲碁将棋室	未集計	未集計	3,137	8,489	1,029
	プレイルーム	未集計	未集計	9,470	9,023	11,155
	合計	460,810	412,935	463,400	428,758	281,598
施設運営情報		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宿泊室：H24に宿泊機能を廃止→特別和室として貸館利用</li> <li>・ 浴室：設備故障の影響により通年休止（R5～R6）</li> <li>・ プール：設備故障の影響により約6カ月間休止（R4～R5）</li> </ul>				

※R1年度は3月に新型コロナウイルス感染症の影響による休館を実施したため、当該期間は前年度の実績を用いて推計

※R6年度は1月～3月に部分休館を実施したため、当該期間は前年度の実績を用いて推計

### (2) 講座開講状況 ※令和6年度実績

体育講座	27教室開催（延べ8,672名の参加）
文化講座	37講座開催（延べ4,369名の参加）

### (3) イベント等の開催状況

- ・ 令和6年度は、主催・共催事業として25のイベントが開催され、延べ34,190名が参加
- ・ その他、貸館事業として、ダンスイベントや音楽イベントを開催

橘ふるさとまつり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民プラザの開設を契機に、昭和55年より開催</li> <li>・ 地域の諸団体で構成する実行委員会が運営</li> </ul> 来場者数：5,797（R6）、5,374（R5）、7,000（H30）
新作第一町内会盆踊り大会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地元町内会により運営される盆踊り大会</li> <li>・ 屋内広場にやぐら、施設内外に屋台を設置して開催</li> </ul> 来場者数：6,402（R6）、5,826（R5）、1,200（H30）
人形劇まつり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昭和62年から開催の関東最大級の人形劇イベント</li> </ul> 来場者数：7,321（R6）、8,727（R5）、6,225（H30）

### (4) 利用者居住地 ※利用者アンケートより抜粋

高津区	42.4%	宮前区	21.3%	中原区	8.5%
-----	-------	-----	-------	-----	------

- ・ 市民の福祉の向上に寄与する施設として、**健康増進**や**文化振興**に資する役割や、**市民相互の交流の機会を提供**する役割を果たしてきた。
- ・ 橘処理センターの余熱を活用し、健康増進や文化振興、市民相互の交流の機会を提供してきた。
- ・ 設置目的に基づく役割の他、遊具等が設置された**子どもの遊び場**やプレイルームによる**子どもの遊び場**としての役割や、広大な敷地を活かした、**地域防災力の確保**に資する役割も担ってきた。
- ・ 近隣住民の利用が多く、また、橘ふるさと祭りなど、地域の交流イベントが開催されており、地域に根付いた施設である。
- ・ 宿泊機能の廃止に伴い現在は未利用となっている配膳室や、本来の目的で利用されていない特別和室（旧宿泊室）があることに加え、会議室や和室、セミナールームなどの類似の機能を有する諸室が多数存在しており、**利用者及び利用率の減少**がみられる諸室もあることから、**適正規模・機能の検討**が必要な状況